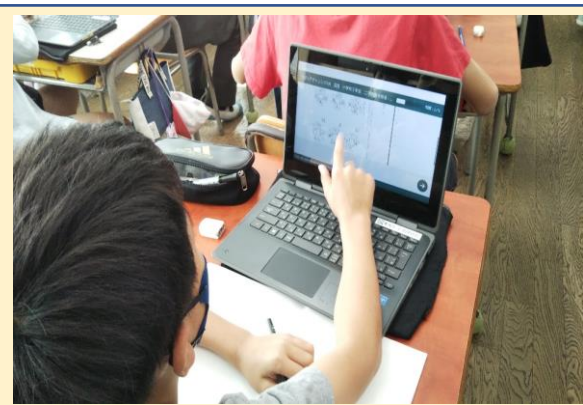


福岡県の小郡市立三国小学校 教頭 和田 様から、MEXCBTの利活用についてお話を伺いました。
 三国小学校は、授業のまとめ・単元末やテストが早く終わった児童の空いた時間、また長期休業中や休日の家庭学習を中心としてMEXCBTを利活用され、児童一人あたりの累計解答数も多くなっています。活用をした児童や先生方の様子、また今後の展開について、主にお話を伺いました。
 ■■■学校HPのURL <http://www.ogori-mii.ed.jp/~mikuni-e/>■■■

<p>活用の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに、MEXCBTを児童や教職員がいつでも活用できるように設定を行い、職員全体で使い方等の研修を行った。 ・活用場面としては、「授業のまとめ・単元末やテスト等が早く終わった児童の空いた時間」や、「長期休業中や休日に家庭学習」で、習熟度に応じた問題を解いている。 (例) 5年生算数「小数のわり算」の最後に、小数のたし算やひき算、かけ算も一緒に確認することで、計算の違いを明確にし、習熟を図る。
<p>子どもたちの反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使って、ドリルをする（問題を解く）のは楽しい。 ・また、自分のペースで問題解決できるため、じっくりと問題に取り組むことができる。 ・様々な問題があるため、自分の習熟度に応じた問題選択ができ、自己調整しながら学習を進めることができる。
<p>先生の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動採点機能がついているため、児童自ら主体的に学習を進めることができる他、授業の内容やテスト等が早く終わった場合でも、教員の負担なく自分で復習等ができる。 ・いつでも基礎基本問題、応用活用問題等を児童が解くことができるため、基礎基本の定着を図ったり、思考力や応用力等を身に付けたりするための学習活動を保障することができる。
<p>今後の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、授業のまとめや単元末、さらには長期休業中や休日での家庭学習に活用していきたい。 ・MEXCBTの効果的な活用方法やよさについて、学校全体、市全体に広げて共有していき、児童の主体的で個別最適な学びにもつなげていきたい。



授業のまとめでの活用